

平成27年津島市成人式

新たな門出、晴れやかに



▲はたちの誓い

1月11日(日)、文化会館で平成27年成人式が催されました。今年は、昨年より66人多い、745人(男性390人、女性355人)が新たに大人の仲間入りを果たしました。

会場には、晴れ着姿の新成人が、久しぶりに会う同級生と懐かしそくに語り、記念撮影をする姿が見られました。

式典は、各出身中学校から選任された8人の実行委員の皆さんにより企画運営され、第一部では、新成人を代表して堀田勇士朗さんと館可奈さんが「はたちの誓い」を宣言しました。

また、第2部では、ビデオレターや恩師の登場で、会場からは懐かしむ声が聞かれました。

新成人となられた皆さんにとって、この日は新たな門出として、心に残るものとなったことでしょう。



皆で記念撮影



▲恩師からのメッセージ



▲「このシルエットは誰でしょう？」



▲「あっ、先生だ」





市長



平成26年11月26日(水)市役所市長公室で約1時間30分にわたり、市長、教育長と実行委員8人の皆さんとの懇談会が開かれました。

皆さんから「成人としての責任や自覚について」「津島市に住んで感じること」などをテーマに語ってもらいました。

※()内は出身中学校



新成人と市長との懇談会



教育長

成人としての責任や自覚について

まだ大人になる実感は少ないが、子どもの頃から父に、自分を超えてくれと言われてきた。父を超えることを目標にがんばります。



荻窪 廉さん(暁中)

今までは、周りに守られている立場だったが、これからは育てていただいた方達に恩返しをしていきたい。また、胸を張って生きていきたい。



舘 可奈さん(藤浪中)

年金・選挙権等で大人の仲間入りをしたのを少しずつ実感している。将来、ファイナンシャルプランナーになり、企業等の発展に関わる事ができたらと思う。



杉浦夏実さん(神守中)

将来は、津島市でコーチとなって、Jリーガーを育てたいと考えている。津島のサッカーを盛り上げていきたい。



堀田勇士朗さん(藤浪中)

津島市に住んで感じること

過疎化が一部見られ、公共交通機関が乏しいように感じる。企業等がもう少し津島に増えたらと思う。



加藤紗和子さん(暁中)

小さい頃から静かな環境に慣れてしまったからか、人ごみは疲れます。天王通りは、活気が少ないが、駄菓子屋等、今でもがんばってやっているお店もあり、癒される。



前野吉秀さん(天王中)

自分が小学生の頃は空き地等が点在して遊ぶことができた。今は子どもが安心して遊んだりする場所が減ったと思う。



平野裕也さん(神守中)

田舎な津島が嫌いで、名古屋方面の高校を選んで通学したが、津島に帰ってくると落ち着く。天王祭や正月の津島神社には皆が集まりにぎわう。



木澤 翠さん(天王中)